



アクサ生命の変額個人年金保険

5年計画

保証金額付特別勘定年金特約(定期Ⅰ型)付変額個人年金保険(06)

保証金額付特別勘定年金特約(定期Ⅱ型)付変額個人年金保険(06)

特別勘定（世界分散型3ODI） 四半期運用レポート

2013年1月～2013年3月

設定・運用は

DIAMアセットマネジメント

**【利用する投資信託の委託会社】 DIAMアセットマネジメント株式会社**

1999年に第一ライフ投信投資顧問、興銀NWアセットマネジメント、日本興業投信の3社が合併して発足しました。競争力のある運用ノウハウ・人材を結集し、高品質な商品およびサービスをご提供しています。

- ・アクサ生命保険株式会社の「保証金額付特別勘定年金特約(定期Ⅰ型)/(定期Ⅱ型)付変額個人年金保険(06)」は、特別勘定で運用を行う保険商品です。
- ・特別勘定の主たる運用手段として投資信託を用いますが、投資信託ではありません。
- ・当資料は、アクサ生命保険株式会社の「保証金額付特別勘定年金特約(定期Ⅰ型)/(定期Ⅱ型)付変額個人年金保険(06)」の運用状況等を開示するためのものであり、生命保険の募集を目的としたものではありません。
- ・当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から取得した情報に基づき作成した部分を含んでおりますが、その部分の正確性・完全性については、これを保証するものではありません。
- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
- ・また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- ・商品内容の詳細については「契約締結前交付書面(■契約概要、■注意喚起情報)」、「商品パンフレット」、「ご契約のしおり・約款」、「特別勘定のしおり」をあわせてご覧ください。
- ・当資料に記載されている各表にある金額、比率、ファンドの資産構成等はそれぞれの項目を四捨五入等をしていきますので、合計等と合致しないことがあります。

保証金額付特別勘定年金特約（定期Ⅰ型）付変額個人年金保険（06） 保証金額付特別勘定年金特約（定期Ⅱ型）付変額個人年金保険（06） 特別勘定の四半期運用レポート（2013年1月～2013年3月）

- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- ・当ページは、各種の信頼できると考えられる情報源から取得した情報に基づき、アクサ生命保険株式会社が作成し提供するものです。情報の内容に関しては万全を期しておりますが、その正確性・完全性については、これを保証するものではありません。

運用環境 [2013年1月～2013年3月]

【日本株式市場】

日本株式市場は、上昇し、TOPIX(東証株価指数)は12月末比+20.34%上昇の1,034.71ポイントで終了しました。

1月は、材料出尽くし感から一時調整する局面もありましたが、政府の大規模な緊急経済対策決定や円安進行による企業収益の改善期待などから上昇しました。2月は、日銀総裁の早期辞任表明を受けて円安が進行したことなどから上昇しました。G20(20カ国・地域)財務相・中央銀行総裁会議の共同声明を受け、円安けん制への警戒感が高まったことやイタリア総選挙の結果などから下落する局面もありましたが、次期日銀正副総裁人事の報道を受けて金融緩和期待が高まったことなどから上昇基調で推移しました。3月は、前半は、政府のTPP(環太平洋経済連携協定)交渉参加表明や日銀正副総裁人事が国会で同意を得たことなどから上昇し、後半は、キプロス救済を巡るユーロ圏の混乱などから横ばいで推移しました。

業種別(東証33業種)では、業績改善が好感された「ゴム製品」(12月末比+44.37%)が最も上昇した一方、下落した業種はありませんでした。

【外国株式市場】

米国株式市場は、1月は、「財政の崖」問題が回避されたことなどから上昇しました。2月は、後半イタリア政局の先行き不透明感などにより下落する局面もありましたが、好調な経済指標やFRB(米連邦準備制度理事会)議長が金融緩和に肯定的な考えを示したことなどから上昇しました。3月は、キプロス救済策を巡るユーロ圏の混乱などから下落する局面もありましたが、雇用統計など経済指標が好調だったことなどを受けて上昇し、NYダウは、12月末比+11.25%上昇の14,578.54ドルで終了しました。

欧州株式市場は、1月は、米国の「財政の崖」問題が回避されたことや欧州金融・財政問題への懸念後退などから上昇しました。2月は、ドイツの景況感改善などが上昇要因となりましたが、イタリアの総選挙結果などを受けて軟調な推移となりました。3月は、米国の景況感の改善などから上昇し、その後キプロス救済策を巡るユーロ圏の混乱やイタリア政権樹立が難航したことなどから下落しました。市場別騰落率は、英FT100は12月末比+8.71%上昇、仏CAC40は同+2.48%上昇、独DAXは同+2.40%上昇となりました。

【日本債券市場】

日本債券市場は、1月は順調な国債入札や日銀による追加金融緩和観測の高まりなどから金利は低下(価格は上昇)しました。2月は、株高を背景に金利は上昇(価格は下落)する局面もありましたが、日銀総裁の早期辞任表明、円安の一服や日銀の正副総裁人事の報道を受けて金融緩和への期待が高まったことなどから低下しました。3月は、10年債の低調な入札などから金利が上昇する局面がありましたが、その後キプロス救済を巡るユーロ圏の混乱などから金利は低下し、新発10年国債利回りは0.560%となりました(12月末は0.795%)。

日銀は、無担保コール翌日物金利の誘導目標を年0～0.1%程度で推移するよう金融市場調節を行いました。無担保コール(翌日物)は0.1%程度の水準で推移しました。

【外国債券市場】

米国債券市場は、1月は、「財政の崖」問題の回避や良好な雇用統計などから金利は上昇(価格は下落)しました。2月は、イタリア総選挙の結果を受けて先行き不透明感の高まりなどから米国債が買われる展開となり、金利は低下(価格は上昇)しました。3月前半は、雇用統計など経済指標が好調だったことなどから金利は上昇し、後半はキプロス救済計画に対する懸念が高まったことなどから低下しました。米10年国債利回りは、3月末には1.849%となりました(12月末は1.757%)。

欧州債券市場は、1月は、民間銀行がECB(欧州中央銀行)から調達した資金を一部早期返済するという報道などから金利は上昇しました。2月は、ECB総裁のユーロ高注視の発言やイタリア選挙の結果などから金利は低下しました。3月前半は、ECBによる金融緩和への期待の後退などから金利は上昇し、後半は、キプロス救済策を巡るユーロ圏の混乱やイタリア政権樹立が難航したことなどから低下し、独10年国債利回りは、3月末には1.289%となりました(12月末は1.316%)。

FRBは、FF(フェデラル・ファンド)金利の誘導目標を据え置き、年0.0～0.25%を維持しました。ECBは政策金利を据え置き、年0.75%を維持しました。

【外国為替市場】

米ドル/円相場は、1月に、「財政の崖」問題の回避や政府が日銀に対して2%の物価目標を求める姿勢を示すなど金融緩和策強化の圧力を強めたこと、2月は日銀総裁の早期辞任表明により金融緩和が前倒しで実施されるとの観測、さらに3月は米国の経済指標が好調だったことなどから、期を通して円安が進行しました。円は対ドルで12月末比74.7銭(8.63%)円安ドル高の1ドル=94円05銭となりました。

ユーロ/円相場は、1月は、欧州債務問題への懸念の後退やECBの利下げ観測後退などから円安が進行しました。2月は、10～12月期のユーロ圏GDPが市場予想以上に落ち込んだことやイタリアの総選挙結果などから円高が進行しました。3月は、前半は、ECBによる金融緩和への期待後退などから円安が進み、後半はキプロス救済策を巡るユーロ圏の混乱やイタリアの政権樹立が難航したことなどから円高が進行しましたが、円は対ユーロで12月末比6円02銭(5.25%)円安ユーロ高の1ユーロ=120円73銭となりました。

【募集代理店】 取扱者(生命保険募集人)
株式会社みずほ銀行

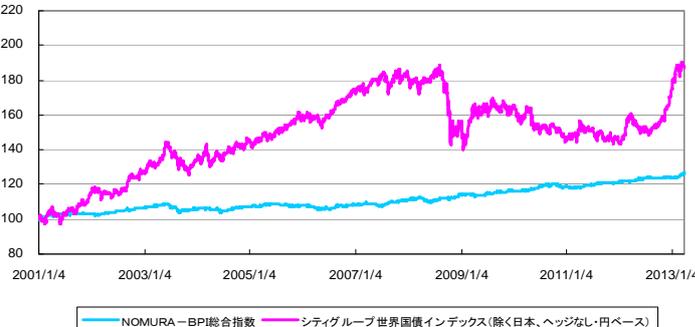
日本と外国の株式市場の推移

*下記グラフは2001年1月4日を100として指数化しています。

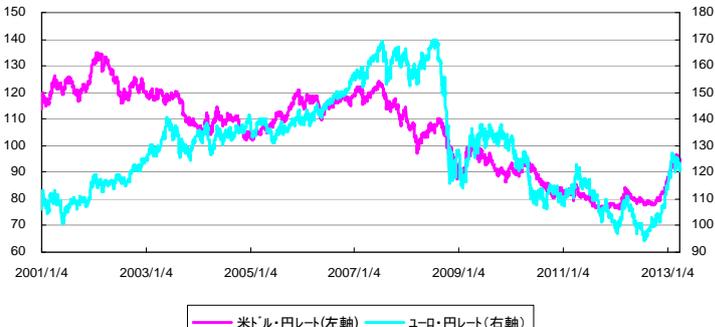


日本と外国の債券市場の推移

*下記グラフは2001年1月4日を100として指数化しています。



外国為替市場の推移



出所:株式会社三菱東京UFJ銀行の対顧客電信相場仲値

【引受保険会社】
アクサ生命保険株式会社
〒108-8020 東京都港区白金1 17 3
TEL: 0120 375 193
アクサ生命株式会社 http://www.axa.co.jp/life/

保証金額付特別勘定年金特約（定期Ⅰ型）付変額個人年金保険（06）
 保証金額付特別勘定年金特約（定期Ⅱ型）付変額個人年金保険（06）
特別勘定の四半期運用レポート （2013年1月～2013年3月）

・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
 ・特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社であるDIAMアセットマネジメント株式会社の裁量の範囲外となります。

特別勘定の運用状況 [2013年3月末日現在]

特別勘定名	利用する投資信託の運用方針
世界分散型30DI	<ul style="list-style-type: none"> ● 当ファンドは、日本および世界の株式、債券などへ分散投資を行い、安定した収益の確保と信託財産の長期的な成長を図ることを目標として運用を行います。投資対象となる各資産の合成インデックスをベンチマークとし、ベンチマークに連動する投資成果を目指します。 ● 基本資産配分比率は下記の通りとなります。当ファンドにおいて、外国債券の資産配分比率である40%のうち、15%相当部分を為替ヘッジします。 国内株式：10% 外国株式：20% 国内債券：30% 外国債券(為替ヘッジなし)：25% 外国債券(為替ヘッジあり)：15% ● リバランスは、1ヵ月毎(月末時点)に基本資産配分比率に戻すことを原則とします。 ● 当ファンドの主なリスクとして、価格変動リスク、為替リスク、信用リスク、金利変動リスクなどがあります。
利用する投資信託	
DIAM アクサ グローバル バランスファンド30VA (適格機関投資家限定)	

■特別勘定のユニットプライスの推移

※特別勘定のユニットプライスは、各特別勘定で利用している投資信託の基準価額とは異なります。



特別勘定の ユニットプライス		騰落率(%)	
2013年3月末	90.82	過去1ヵ月	2.00
2013年2月末	89.03	過去3ヵ月	7.02
2013年1月末	88.41	過去6ヵ月	14.62
2012年12月末	84.86	過去1年	11.46
2012年11月末	81.79	過去3年	8.75
2012年10月末	79.89	設定来	▲9.18

・世界分散型30DIの特別勘定のユニットプライスは、特別勘定の設定日(2007年2月13日)を100.00として計算しております。
 ・騰落率は、該当月の月末のユニットプライスに対する今月末のユニットプライスの変動率を表しています。

■特別勘定資産の内訳

項目	世界分散型30DI	
	金額(千円)	比率(%)
その他有価証券	14,208,294	99.6
現預金・その他	56,271	0.4
合計	14,264,565	100.0

・特別勘定で利用している国内投資信託は、いずれも「その他有価証券」の項目に含まれています。
 ・金額の単位未満は切捨てとしました。また、比率については小数点第二位を四捨五入しております。

【募集代理店】 取扱者(生命保険募集人)
株式会社みずほ銀行

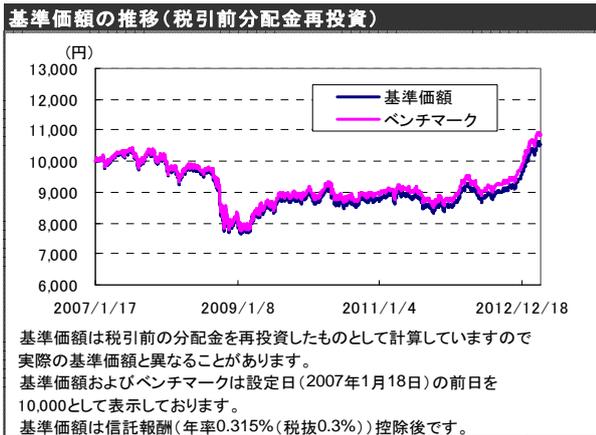
【引受保険会社】
 アクサ生命保険株式会社
 〒108-8020 東京都港区白金1 17 3
 TEL: 0120 375 193
 アクサ生命 <http://www.axa.co.jp/life/>

保証金額付特別勘定年金特約（定期Ⅰ型）付変額個人年金保険（06） 保証金額付特別勘定年金特約（定期Ⅱ型）付変額個人年金保険（06） 特別勘定の四半期運用レポート（2013年1月～2013年3月）

- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- ・特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社であるDIAMアセットマネジメント株式会社の裁量の範囲外となります。
- ・当ページは、DIAMアセットマネジメント株式会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

DIAM アクサ グローバル バランスファンド30VA(適格機関投資家限定)の運用状況 [2013年3月末日現在]

※ここでは、特別勘定で利用している投資信託の基準価額の推移等を記載しております。特別勘定のユニットプライスは、ファンドの基準価額とは異なります。



分配金情報(税引前) ※分配金は1万口当たり

第4期 (2010.06.22)	分配金	0 円
第5期 (2011.06.22)	分配金	0 円
第6期 (2012.06.22)	分配金	0 円
設定来累計分配金		0 円

※直近3年分
※分配対象額が少額の場合には、分配を行わない場合があります。

当月末基準価額・純資産総額

基準価額	10,523 円
純資産総額	29,445 百万円
設定日	2007年1月18日
決算日	原則 6月 22日
信託期間	無期限

ポートフォリオ構成

	実質組入比率	基本資産配分比率	差
国内株式	9.9%	10.0%	-0.1%
国内債券	30.0%	30.0%	-0.0%
外国株式	19.9%	20.0%	-0.1%
外国債券	39.1%	40.0%	-0.9%
現金等	1.1%	0.0%	1.1%
合計	100.0%	100.0%	-

※計理処理の仕組み上、直近の追加設定分が反映されないことなどにより、ファンドの実質組入比率と基本資産配分比率が、一時的に大幅に乖離したり「現金等」の比率がマイナスになる場合があります。
※株式には投資証券、投資信託受益証券及び新株予約権証券を含む場合があります。
※外国債券の資産配分比率である40%のうち、15%相当部分を為替ヘッジします。

騰落率(税引前分配金再投資)

	1ヵ月 (2013/02/28)	3ヵ月 (2012/12/28)	6ヵ月 (2012/09/28)	1年 (2012/03/30)	3年 (2010/03/31)	5年 (2008/03/31)	設定来 (2007/01/17)
当ファンド	2.20%	7.65%	16.01%	14.11%	16.57%	11.06%	5.23%
ベンチマーク	2.31%	7.80%	16.37%	14.78%	17.94%	13.60%	8.31%
差	-0.11%	-0.14%	-0.37%	-0.67%	-1.37%	-2.54%	-3.08%

※騰落率は税引前の分配金を再投資したものと算出していますので実際の投資家利回りと異なる場合があります。

ファンドの特色

- 主な投資対象** 主として国内株式パッシブ・ファンド(最適化法)・マザーファンド、国内債券パッシブ・ファンド・マザーファンド、外国株式パッシブ・ファンド・マザーファンドおよび外国債券パッシブ・ファンド・マザーファンドの各受益証券への投資を通じ、国内株式・国内債券・外国株式・外国債券へ投資します。
- 投資方針** マザーファンド受益証券への投資を通じ、内外の株式および公社債を実質的な主要投資対象とし、安定した収益の確保と信託財産の長期的な成長を図ることを目標として運用を行います。
- ベンチマーク** 以下の各資産のベンチマークを基本資産配分比率で組入れた合成指数とします。

各資産のベンチマーク

- 【国内株式】 東証株価指数(TOPIX、配当込み)
- 【国内債券】 NOMURA-BPI総合
- 【外国株式】 MSCIロクサイ・インデックス(円換算ベース、配当込み)
- 【外国債券(為替ヘッジなし)】 シティグループ世界国債インデックス(除く日本、ヘッジなし・円ベース)
- 【外国債券(為替ヘッジあり)】 シティグループ世界国債インデックス(除く日本、円ヘッジ・円ベース)

○当資料は、DIAMアセットマネジメント株式会社が作成したものです。○当資料は情報提供を目的とするものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。○投資信託は、実質的に株式や債券等の値動きのある有価証券(外資債資産には為替リスクもあります)に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者にかかる信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、購入金額および利回り保証のいずれもありません。○当資料は、DIAMアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保障するものではありません。○当資料に記載されている運用実績は税引前分配金を再投資したものとすると基準価額の変化を示したものであり、税金および手数料は計算に含まれておりません。○当資料における内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。○投資信託は1. 預金等や保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象にもなりません。2. 購入金額については元本保証および利回り保証のいずれもありません。3. 投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。

設定・運用は
DIAMアセットマネジメント 

【募集代理店】 取扱者(生命保険募集人)
株式会社みずほ銀行

【引受保険会社】
アクサ生命保険株式会社
〒108-8020 東京都港区白金1 17 3
TEL: 0120 375 193
アクサ生命  <http://www.axa.co.jp/life/>

保証金額付特別勘定年金特約（定期Ⅰ型）付変額個人年金保険（06） 保証金額付特別勘定年金特約（定期Ⅱ型）付変額個人年金保険（06） 特別勘定の四半期運用レポート（2013年1月～2013年3月）

- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おください。
- 特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社であるDIAMアセットマネジメント株式会社の裁量の範囲外となります。
- 当ページは、DIAMアセットマネジメント株式会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

各マザーファンドの運用状況 [2013年3月末日現在]

※ここでは、特別勘定で利用している投資信託のマザーファンドの基準価額推移等を記載しております。特別勘定のユニットプライスは、ファンドの基準価額とは異なります。

◆国内株式パッシブ・ファンド(最適化法)・マザーファンド◆

※比率は組入株式評価額に対する割合です。



※基準価額およびベンチマークは2007年1月17日の値を10,000として指数化しております。
※ベンチマークは、東証株価指数(TOPIX、配当込み)です。

組入上位10銘柄 (組入銘柄数: 1684銘柄)

No	銘柄	業種	比率(%)
1	トヨタ自動車	輸送用機器	4.36
2	三菱UFJフィナンシャルG	銀行業	2.91
3	本田技研	輸送用機器	2.09
4	三井住友フィナンシャルG	銀行業	1.97
5	みずほフィナンシャルG	銀行業	1.77
6	キヤノン	電気機器	1.47
7	ソフトバンク	情報・通信業	1.44
8	武田薬品	医薬品	1.38
9	日本たばこ産業	食料品	1.30
10	三菱地所	不動産業	1.25

※株式には新株予約権証券を含む場合があります。

騰落率

	1ヵ月 (2013/02/28)	3ヵ月 (2012/12/28)	6ヵ月 (2012/09/28)	1年 (2012/03/30)	3年 (2010/03/31)	5年 (2008/03/31)	設定来 (2007/01/17)
当ファンド	7.04%	21.47%	41.80%	23.84%	13.07%	-5.34%	-31.16%
ベンチマーク	6.99%	21.46%	41.77%	23.82%	13.05%	-5.27%	-31.17%
差	0.04%	0.01%	0.03%	0.02%	0.02%	-0.07%	0.00%

純資産総額

309,189 百万円

※設定来の騰落率は2007年1月17日を基準に算出しています。

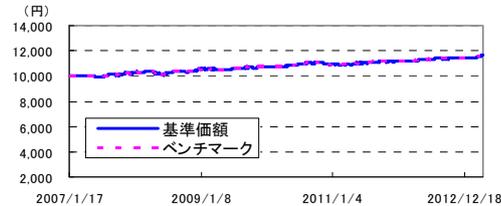
■東証株価指数(TOPIX)に関する知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。

組入上位10業種

	業種名	当ファンド	ベンチマーク	差
1	電気機器	11.44	11.44	0.00
2	輸送用機器	11.14	11.15	-0.00
3	銀行業	10.77	10.77	-0.00
4	情報・通信業	6.13	6.13	0.00
5	化学	5.63	5.63	0.00
6	医薬品	5.15	5.15	0.00
7	機械	5.09	5.09	0.00
8	卸売業	4.89	4.90	-0.00
9	小売業	4.42	4.42	0.00
10	陸運業	4.41	4.41	-0.00

◆国内債券パッシブ・ファンド・マザーファンド◆

※比率は組入債券評価額に対する割合です。



※基準価額およびベンチマークは2007年1月17日の値を10,000として指数化しております。
※ベンチマークは、NOMURA-BPI総合です。

組入上位10銘柄 (組入銘柄数: 601銘柄)

No	銘柄	比率(%)
1	3 2 5 回 利付国庫債券(10年)	1.49
2	3 2 6 回 利付国庫債券(10年)	1.47
3	3 1 3 回 利付国庫債券(10年)	1.31
4	1 0 5 回 利付国庫債券(5年)	1.23
5	1 0 6 回 利付国庫債券(5年)	1.23
6	9 3 回 利付国庫債券(5年)	1.20
7	1 0 7 回 利付国庫債券(5年)	1.12
8	3 1 0 回 利付国庫債券(10年)	1.05
9	3 2 1 回 利付国庫債券(10年)	1.05
10	3 0 6 回 利付国庫債券(10年)	1.03

セクター別比率

	組入比率	ベンチマーク	差
国債	79.22%	77.65%	1.57%
地方債	6.74%	7.23%	-0.49%
金融債	1.09%	1.12%	-0.04%
政保債	4.04%	4.10%	-0.07%
社債	8.14%	7.68%	0.46%
円建外債	0.21%	0.71%	-0.50%
MBS	0.58%	1.35%	-0.77%
ABS	0.00%	0.16%	-0.16%
合計	100.00%	100.00%	-

ポートフォリオの状況

	当ファンド	ベンチマーク	差
平均複利回り	0.50%	0.50%	-0.00%
平均クーポン	1.38%	1.37%	0.01%
平均残存期間	8.67	8.23	0.44
修正デュレーション	7.61	7.48	0.13

※ポートフォリオの状況は純資産総額をもとに計算しております。
※「複利回り」とは、個別債券等について満期まで保有した場合の複利回りを加重平均したものです。利回りは、計算日時点の評価にもとづくものであり、売却や償還による差損益等を考慮した後のファンドの「期待利回り」を示すものではありません。
※「クーポン」とは、債券の額面に対して毎年受取れる利息の割合のことで表面利率をあらわします。
※「修正デュレーション」とは、債券価格の弾力性を示す指標として用いられ金利の変化に対する債券価格の変動率を示します。

○当資料は、DIAMアセットマネジメント株式会社が作成したものです。○当資料は情報提供を目的とするものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。○投資信託は、実質的に株式や債券等の値動きのある有価証券(外資証券には為替リスクがあります)に投資をしますので、市場環境、個人有価証券の発行者にかかる信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、購入金額について元本保証および利回り保証のいずれもありません。○当資料は、DIAMアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、当社が保証するものではありません。また掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。○当資料に記載されている運用実績は税引前分配金を再投資したものである基準価額の変化を示したものであり、税金および手数料は計算に含まれておりません。○当資料における内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。○投資信託は1. 預金等や保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象にもなりません。2. 購入金額については元本保証および利回り保証のいずれもありません。3. 投資した資産の価値が減少して購入金額が下がりますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。

設定・運用は
DIAMアセットマネジメント
ダイアム

【募集代理店】 取扱者(生命保険募集人)
株式会社みずほ銀行

【引受保険会社】
アクサ生命保険株式会社
〒108-8020 東京都港区白金1 17 3
TEL: 0120 375 193
アクサ生命 <http://www.axa.co.jp/life/>

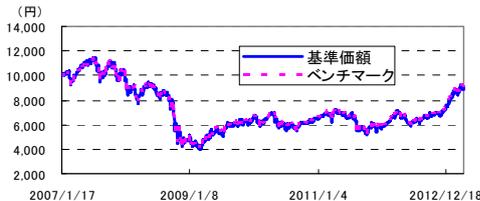
保証金額付特別勘定年金特約（定期Ⅰ型）付変額個人年金保険（06） 保証金額付特別勘定年金特約（定期Ⅱ型）付変額個人年金保険（06） 特別勘定の四半期運用レポート（2013年1月～2013年3月）

- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おください。
- 特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社であるDIAMアセットマネジメント株式会社の裁量の範囲外となります。
- 当ページは、DIAMアセットマネジメント株式会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

各マザーファンドの運用状況 [2013年3月末日現在]

※ここでは、特別勘定で利用している投資信託のマザーファンドの基準価額推移等を記載しております。特別勘定のユニットプライスは、ファンドの基準価額とは異なります。

◆外国株式パッシブ・ファンド・マザーファンド◆



※基準価額およびベンチマークは2007年1月17日の値を10,000として指数化しております。
※ベンチマークは、MSCIロクサイ・インデックス(円換算ベース、配当込み)です。

組入上位10銘柄

No	銘柄	国名	業種	比率(%)
1	APPLE INC	アメリカ	コンピュータ・周辺機器	1.66
2	EXXON MOBIL CORP	アメリカ	石油・ガス・消耗燃料	1.64
3	GENERAL ELECTRIC CO	アメリカ	コングロマリット	0.97
4	CHEVRON CORP	アメリカ	石油・ガス・消耗燃料	0.94
5	NESTLE SA-REGISTERED	スイス	食品	0.93
6	INTL BUSINESS MACHINES CORP	アメリカ	情報技術サービス	0.91
7	JOHNSON & JOHNSON	アメリカ	医薬品	0.91
8	MICROSOFT CORP	アメリカ	ソフトウェア	0.86
9	PFIZER INC	アメリカ	医薬品	0.86
10	GOOGLE INC	アメリカ	インターネットソフトウェア・サービス	0.85

※株式には投資証券、投資信託受益証券及び新株予約権証券を含む場合があります。

※比率は組入株式評価額に対する割合です。

騰落率

	1か月 (2013/02/28)	3か月 (2012/12/28)	6か月 (2012/09/28)	1年 (2012/03/30)	3年 (2010/03/31)	5年 (2008/03/31)	設定来 (2007/01/17)
当ファンド	4.00%	16.84%	32.18%	29.32%	32.18%	8.10%	-10.56%
ベンチマーク	4.16%	16.99%	32.55%	29.99%	33.39%	10.19%	-8.53%
差	-0.16%	-0.15%	-0.37%	-0.67%	-1.20%	-2.09%	-2.04%

純資産総額 319,851 百万円

※設定来の騰落率は2007年1月17日を基準に算出しています。

■MSCIロクサイ・インデックスは、MSCI Inc.が公表しているインデックスで、当指数に関する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCI Inc.に属しており、また、MSCI Inc.は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

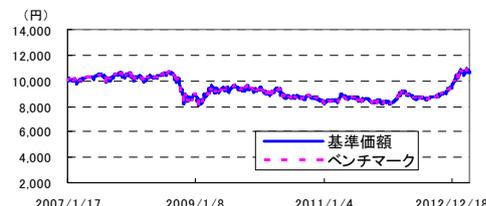
組入上位10カ国

No	国名	比率
1	アメリカ	56.88%
2	イギリス	9.69%
3	カナダ	4.98%
4	スイス	4.73%
5	オーストラリア	4.19%
6	フランス	4.10%
7	ドイツ	3.82%
8	スウェーデン	1.47%
9	香港	1.32%
10	オランダ	1.29%

組入上位10業種

No	業種名	比率
1	エネルギー	10.86%
2	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	8.55%
3	銀行	7.78%
4	資本財	7.37%
5	食品・飲料・タバコ	7.13%
6	ソフトウェア・サービス	6.30%
7	素材	6.24%
8	各種金融	5.09%
9	保険	4.48%
10	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	4.01%

◆外国債券パッシブ・ファンド・マザーファンド◆



※基準価額およびベンチマークは2007年1月17日の値を10,000として指数化しております。
※ベンチマークは、シティグループ世界国債インデックス(除く日本、ヘッジなし・円ベース)です。

組入上位10銘柄

No	銘柄	通貨	組入比率(%)	残存年数
1	US T N/B 4.75 05/15/14	米ドル	1.00	1.128
2	US T N/B 0.25 09/15/14	米ドル	0.95	1.461
3	US T N/B 4.25 11/15/14	米ドル	0.92	1.628
4	US T N/B 2.375 09/30/14	米ドル	0.86	1.503
5	DEUTSCHLAND 3.75 01/04/15	ユーロ	0.80	1.764
6	US T N/B 2.5 03/31/15	米ドル	0.74	2.006
7	US T N/B 2.125 11/30/14	米ドル	0.73	1.669
8	US T N/B 2.625 06/30/14	米ドル	0.73	1.253
9	US T N/B 1.25 08/31/15	米ドル	0.73	2.422
10	US T N/B 4.25 08/15/14	米ドル	0.70	1.378

※比率は組入債券評価額に対する割合です。

騰落率

	1か月 (2013/02/28)	3か月 (2012/12/28)	6か月 (2012/09/28)	1年 (2012/03/28)	3年 (2010/03/31)	5年 (2008/03/31)	設定来 (2007/01/17)
当ファンド	1.28%	6.73%	21.81%	17.80%	15.66%	5.91%	6.83%
ベンチマーク	1.47%	6.81%	22.11%	18.22%	15.53%	6.20%	6.98%
差	-0.19%	-0.08%	-0.30%	-0.42%	0.13%	-0.29%	-0.13%

純資産総額 404,558 百万円

※設定来の騰落率は2007年1月17日を基準に算出しています。

■シティグループ世界国債インデックスは、シティグループ・グローバル・マーケット・インクが開発した債券インデックスです。

通貨別比率

通貨	比率
米ドル	41.75%
ユーロ	41.20%
イギリス・ポンド	7.54%
カナダ・ドル	2.72%
オーストラリア・ドル	1.62%
メキシコ・ペソ	1.06%
デンマーク・クローネ	0.84%
ポーランド・ズロチ	0.77%
スウェーデン・クローネ	0.64%
南アフリカ・ランド	0.57%
マレーシア・リンギット	0.55%
シンガポール・ドル	0.45%
ノルウェー・クローネ	0.30%
合計	100.00%

ポートフォリオの状況

	当ファンド	ベンチマーク	差
平均複利回り	1.56%	1.59%	-0.03%
平均クーポン	3.66%	3.17%	0.49%
平均残存期間	7.88	7.62	0.26
修正デュレーション	5.98	6.06	-0.08

※ポートフォリオの状況は純資産総額をもとに計算しております。
※「複利回り」とは、個別債券等について満期まで保有した場合の複利利回りを加重平均したものです。利回りは、計算日時点の評価値をもとに算出されており、売却や償還による差損益等を考慮した後のファンドの「期待利回り」を示すものではありません。
※「クーポン」とは、債券の額面に対して毎年受取れる利息の割合のことで表面利率をあらわします。
※「修正デュレーション」とは、債券価格の弾力性を示す指標として用いられ金利の変化に対する債券価格の変動率を示します。

○当資料は、DIAMアセットマネジメント株式会社が作成したものです。○当資料は情報提供を目的とするものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。○投資信託は、実質的に株式や債券等の値動きのある有価証券(外資建資産には為替リスクがあります)に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者にかかる信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、購入金額については元本保証および利回り保証のいずれもありません。○当資料は、DIAMアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。○当資料に記載されている運用実績は税引前配分金を再投資したものであると見做すものと見做すものとを併記しております。○当資料における内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。○投資信託は1. 預金等や保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて証券会社を通じて購入していない場合には投資者保護基金の対象にもなりません。2. 購入金額については元本保証および利回り保証のいずれもありません。3. 投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。

設定・運用は
DIAMアセットマネジメント



【募集代理店】 取扱者(生命保険募集人)
株式会社みずほ銀行

【引受保険会社】
アクサ生命保険株式会社
〒108-8020 東京都港区白金1 17 3
TEL: 0120 375 193
アクサ生命 株式会社 http://www.axa.co.jp/life/

保証金額付特別勘定年金特約（定期Ⅰ型）付変額個人年金保険（06） 保証金額付特別勘定年金特約（定期Ⅱ型）付変額個人年金保険（06） リスク及び諸費用について

【投資リスクについて】

この保険は積立金額および年金額等が特別勘定資産の運用実績に応じて変動(増減)するしくみの変額個人年金保険です。特別勘定資産の運用は、投資信託を利用して国内外の株式・公社債等で行なっており、株式および公社債の価格変動と為替変動等に伴う投資リスクがあります。特別勘定資産の運用実績が積立金額に直接反映されますので、運用実績によっては、ご契約を解約した場合の払い戻し金額等が一時払保険料等を下回る場合があります。

【諸費用について】

! ご契約者にご負担いただくこの保険の費用は、契約初期費用・保険契約管理費・運用関係費の合計金額となります。なお、年金種類の変更により一般勘定年金を選択された場合には、年金管理費がかかります。

特別勘定繰入前に控除される費用

項目	費用	ご負担いただく時期	
契約初期費用	ご契約の締結などに必要な費用	一時払保険料に対して 5% (例)一時払保険料1,000万円の場合、 50万円	一時払保険料を特別勘定に繰り入れる際に、一時払保険料から控除します。

据置期間中に控除される費用

項目	費用	ご負担いただく時期	
保険契約管理費	特別勘定年金受取累計金額(既払年金累計金額)と死亡一時金額の合計金額の最低保証、死亡給付金額の最低保証、災害死亡給付金額のお支払い、ならびに、ご契約の維持などに必要な費用	特別勘定の積立金額に対して 年率2.3% (例)その日の特別勘定の積立金額が1,000万円の場合、 1日あたり約631円	毎日、特別勘定の積立金額から控除します。
運用関係費*1	特別勘定の運用などに必要な費用	投資信託の純資産額に対して 年率0.315%程度 (税抜き:年率 0.30%) (例)その日の投資信託の純資産額が1,000万円の場合、 1日あたり約87円	特別勘定にて利用する投資信託において、毎日、投資信託の純資産額から控除します。

年金受取開始日以後に控除される費用(特別勘定年金受取期間中)

項目	費用	ご負担いただく時期	
保険契約管理費	特別勘定年金受取累計金額(既払年金累計金額)と死亡一時金額の合計金額の最低保証、死亡給付金額の最低保証、災害死亡給付金額のお支払い、ならびに、ご契約の維持などに必要な費用	特別勘定の積立金額に対して 年率2.3% (例)その日の特別勘定の積立金額が1,000万円の場合、 1日あたり約631円	毎日、特別勘定の積立金額から控除します。
運用関係費*1	特別勘定の運用などに必要な費用	投資信託の純資産額に対して 年率0.315%程度 (税抜き:年率 0.30%) (例)その日の投資信託の純資産額が1,000万円の場合、 1日あたり約87円	特別勘定にて利用する投資信託において、毎日、投資信託の純資産額から控除します。

年金受取開始日以後に控除される費用(年金の種類の変更により一般勘定年金を選択した場合)

*「年金払特約(06)」により年金をお受け取りいただく場合を含みます。

項目	費用	ご負担いただく時期	
年金管理費*2	年金のお支払いや管理などに必要な費用	年金額に対して 1.0% (例)年金額が100万円の場合、 1万円	年金受取日に、責任準備金から控除します。

*1 運用関係費は、主に利用する投資信託の信託報酬率を記載しています。信託報酬の他、お客さまにご負担いただく手数料には、信託事務の諸費用等、有価証券の売買委託手数料および消費税等の税金等の諸費用がかかりますが、これらの費用は運用資産額や取引量などによって変動するため、費用の発生前に具体的な金額や計算方法を記載することが困難であり、表示することができません。また、これらの費用は特別勘定がその保有資産から負担するため、基準価額に反映することとなります。したがって、お客さまはこれらの費用を間接的に負担することとなります。なお、運用関係費は運用手法の変更、運用資産額の変動などの理由により、将来変更される可能性があります。

*2 年金管理費は、将来変更となる可能性があります。

【その他の留意事項について】

■受取総額保証金額(定期型)

受取総額保証金額の最低保証は、据置期間(5年~17年)と特別勘定年金受取期間(3年~15年)の合計期間が20年である場合に限られます。積立期間中にご契約を解約される場合、もしくは年金受取期間中に積立金額を一括でお受け取りいただく場合には、お受け取りになる金額が一時払保険料を下回る場合があります。

【募集代理店】 取扱者(生命保険募集人)
株式会社みずほ銀行

【引受保険会社】
アクサ生命保険株式会社
〒108-8020 東京都港区白金1 17 3
TEL: 0120 375 193
アクサ生命株式会社 <http://www.axa.co.jp/life/>